

教員養成系学部における教員（SME）支援動画コメント編集システムの開発

Development of Authoring System for Supporting SME in Teacher Training

西本 彰文^{†‡}, 塚本 光夫[‡]

Akifumi NISHIMOTO^{†‡}, Mitsuo TSUKAMOTO[‡]

[†] 熊本大学大学院社会文化科学研究科

[†] Graduate School of Instructional Systems, Kumamoto University

[‡] 熊本大学教育学部

[‡] Faculty of Education, Kumamoto University

Email: anishimoto@st.gsis.kumamoto-u.ac.jp

あらまし：これまで、現代 GP において開発したリモートロールプレイ動画配信システムを活用し、傾聴やアサーションに関するロールプレイ動画の蓄積を行った。これらのコンテンツは、主にブレンデッド型の講義で活用を行ったが、本動画にコメント等を追加・編集を行う事で、振り返りのコンテンツとしても有効であると考えられる。このようなコメントの編集作業は一般的なものであるが、情報リテラシーの低い教職員にとって障害となる場合も考えられる。そこで、ロールプレイ動画に moodle 上で簡単にコメントの追加編集を行うシステムを開発した。

キーワード：教員支援、コメント編集、ロールプレイ、moodle

1. はじめに

近年、e-learning の普及が全国の大学で進み、大学教育における ICT 環境が整いつある。熊本大学においても、平成 19 年 4 月に e ラーニング推進機構が発足するなど、更なる e-learning の推進が図られている。

また、熊本大学教育学部においても、平成 17-18 年度採択の大学・大学院における教員養成推進プログラム（教員養成 GP）や平成 18-20 年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）などにより e-learning の取り組みを行ってきた。

しかし、文系学部である教育学部において ICT に不慣れた教員の存在が e-learning の推進に障害となる場合があると考えられる。

さらに、財政支援期間終了後も継続することが条件とされている教育 GP において、継続による運用面やコンテンツ作成・更新などで、教員への負担が増えることが予想される。

そこで、本稿では ICT に不慣れた教員にも活用できるコメント編集システムの開発について報告する。

本システムは Web 上で動画にコメントを挿入・編集するシステムであり、利用者として教科内容専門家（SME）である教員を想定している。

2. 現代 GP el ころシステムへの取組

熊本大学教育学部では、平成 18 年度に現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）「el ころ学習プログラムの開発」の採択をうけ、平成 20 年度までの 3 年間の取り組みを行ってきた。本プロジェクトの目的は教員を目指すすべての学生に「心の健康に関する一次予防力」を修得させる e ラーニングプログラムを開発する事である⁽¹⁾。el ころシステムの概要を図 1 に示す。

本 GP では、開発したリモートロールプレイシステムを活用し、傾聴演習や、カウンセリング技法に

関するロールプレイ動画の蓄積を行った。

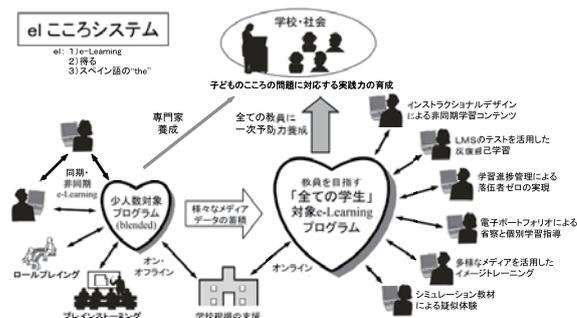


図 1 el ころシステム概要

3. リモートロールプレイシステム

リモートロールプレイシステムは、講義室とは別の部屋で実施されているロールプレイの状況（画像・音声）を講義室にリアルタイムで配信するシステムであり、保存および、再生機能を有している。

図 2 に現代 GP において開発したリモートロールプレイシステムの演習室設備を、図 3 に演習室でのロールプレイの様子を、図 4 に、講義室にリアルタイム配信されたロールプレイによる講義の様子をそれぞれ示す。

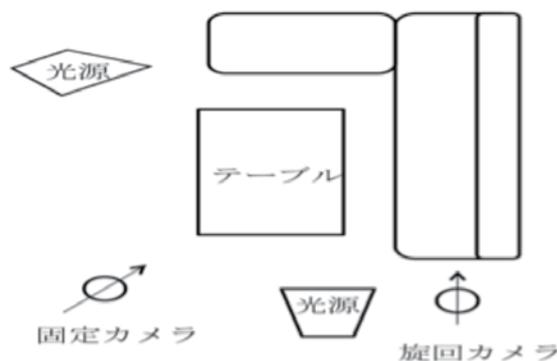


図 2 リモートロールプレイ演習室設備



図 3 ロールプレイの様子



図 4 講義室へリアルタイム配信された様子

4. 開発した動画コメント編集システム

開発した動画コメント編集システムはオープンソース LMS である moodle 上で動作し、以下の機能をもつ。

- flv 形式の動画ファイルアップロード機能
- 動画コメント編集機能 (図 5)
- コメント付き動画表示機能 (図 6)

図 5 に示す動画コメント編集画面では、動画を再生しながらコメントを挿入したいポイントでコメントを挿入することが出来る。また、コメントの表示時間についても設定する事が出来る。

図 6 に示す動画表示画面では、編集画面で入力したコメントが指定の時間に指定の継続時間表示される。また、コメントの表示、非表示を切り替えることが出来る。



図 5 動画コメント編集画面



図 6 コメント付き動画表示画面

5. 本システムの活用場面

図 7 に el ころシステムコンテンツとして開発したビデオコンテンツ⁽²⁾を示す。

本コンテンツは元気のない様子の生徒と、その相談に乗る教師の設定で行われたロールプレイの様子である。傾聴における技法などの説明がコメントで挿入されている。本コンテンツは Flash 上で編集されており、制作には Flash の知識が必要である。



図 7 傾聴ビデオの様子

これに対し、今回開発したシステムは、ロールプレイ動画に moodle 上で簡易にコメントを挿入することができる。これは、Flash などによる動画の編集操作ができない教員でも自ら、蓄積された動画に対してコメントを挿入することが出来る。

このように、開発したシステムは情報リテラシの高くない教職員にとっても利用しやすいと考えられる。

また、本システムで作成したコメント入りの動画は、学生自身のリフレクションや、熟達者によるロールプレイ動画への解説の挿入など、様々な用途が考えられる。

6. おわりに

本報では、開発した教員支援動画コメント編集システムについての報告を行った。今後は、開発したモジュールを活用した実践を行い、教員の意見を参考に改善していく予定である。

また、本モジュールを活用した動画の教育的効果についても検証を行う予定である。

参考文献

- (1) 熊本大学教育学部：平成 20 年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム報告書 取組名称「el ころ学習プログラムの開発」(2009)
- (2) 内山彩：教員養成用対人関係対処法ソフトの開発，熊本大学大学院教育学研究科修士論文 (2009)